

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ！

職場討議資料

JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿を一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義
労働組合が果たすべき役割
私たちが求める労使関係
あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

第13回

あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために その2

(3) すべてのJR労働者のJR連合への結集を目指す

労働組合が求められる役割を果たすためには、自らの能力を高め、企業や社会に信頼され、かつ力のある存在となる必要がある

あらゆるJR関係労働者の結集が求められる

- ・ JR連合がJRを代表する責任産別であり、JR連合への結集を果たしてこそ、健全な労使関係を構築し、労働組合の社会的な役割を発揮し、JRの健全な発展を築くことができる
- ・ 現在のJR東日本、北海道、貨物の多数組合や労使関係の状況は異常であり、組合員はもとより、企業のためにも、社会のためにも、早急に情勢を転換させなければならない
- ・ 「あるべき労働組合像・労使関係像」とJR連合への結集の必要性について、良識ある他労組組合員への訴え掛けを強化し、必ずや早期に民主化闘争を完遂させ、すべてのJRにおいて、健全な労働組合と労使関係を築かなければならない